

クビアカツヤカミキリ対策にご協力ください

6月~7月

成虫を
見つけたら
退治してください



成虫は、触角を除いて3cm前後、全体が黒色で、首に見える胸部のみ赤色です。

昼間、サクラやウメなどの木の幹によくとまっています。

成虫になると、すぐに繁殖します。

①枝の分かれ目にたまったフラス



②幹からぶら下がったフラス

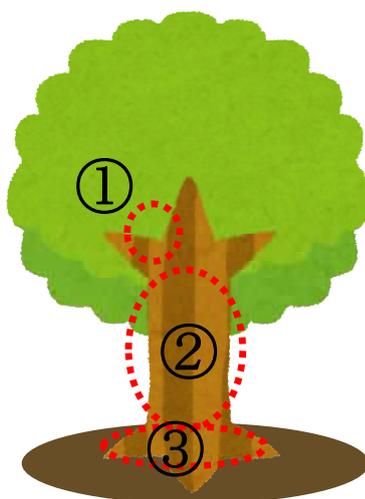


5月~9月

フラスを
見つけたら
連絡をください



③根元にたまったフラス



幼虫は、サクラやウメの木に寄生し、木の中を食べて育ちます。

寄生された木の目印は、「フラス」と呼ばれるかりんとう状の木くずです。

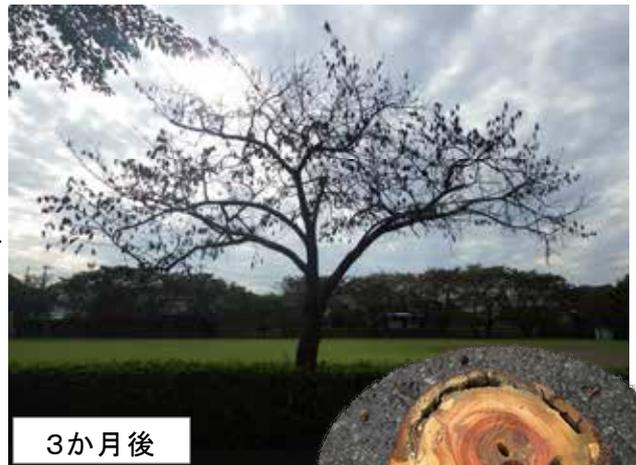
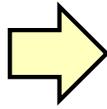
フラスは、木の根元や太い枝の上によく見られます。

クビアカツヤカミキリは、中国などが原産の外来種の昆虫です。幼虫がサクラやウメ、モモ、スモモなどに寄生し、木を枯らしてしまいます。虫自体に毒などの害はありませんが、繁殖力がとても強く、周りの木へどんどん被害を広げてしまう困った虫です。早く見つけて、早く退治することが重要です。

問合せ・連絡先： あきる野市 環境政策課

042-595-1110(平日 8:30~17:15) / 040601@akiruno-info.tokyo.jp(1MB まで)

◆ 寄生された木は枯れるおそれがあります



寄生されると、幼虫に内部を食い荒らされて穴が空き、木が弱っていきます。幼虫の数や木の状態によりますが、早いものは、寄生されてから数年のうちに枯れてしまいます。



- ◇ 景観が悪化し、お花見が楽しめなくなります。
- ◇ ウメやモモなどの農業被害をもたらします。
- ◇ 枝が落ちたり木が倒れたりして、危険です。
- ◇ 生態系に影響を及ぼすおそれがあります。



寄生されたときの対策



成虫を駆除する



薬剤で幼虫を駆除する



寄生木を伐採する

- ◇ クビアカツヤカミキリを飼うことや野外に放すことは、法律で禁止されています。
- ◇ 伐採の時期や方法は、法律でルールが決められているので、注意してください。
- ◇ 木が枯れても、幼虫は木の中で生き続けるので、枯木や伐採材を放置しないでください。

→ ご案内・ご相談しますので、詳しくは、市役所までお尋ねください。

本市では、平成 27 年に多摩川沿いで発見されて以来、毎年、寄生木が増えるとともに、被害地域も広がっています。これを止めるには、早く発見して早く退治することが大切です。あきる野市の桜を守るために、ご協力をお願いします。

